

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人睦学園

(2) 大 学 名

兵庫大学

(3) 大学の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	ワタナベ アズマ 渡 邊 東 (平成20年1月15日)		
学 長	ミウラ タカノリ 三 浦 隆 則 (平成20年7月1日)		
学 部 長	ミヤケ シンジ 三宅 伸二 (平成28年4月1日)		
学科長等	ホリイケ サトシ 堀池 聰 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) • 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
 - 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合（平成28年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科 学士（現代ビジネス）	年 4	人 120	年次 人 20	人 484	

- (注) • 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
• 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 120	人 （ — ） [—]										
志願者数	62	（ — ） [—]	0.29 倍									
受験者数	60	（ — ） [—]										
合格者数	55	（ — ） [—]										
B 入学者数	35	（ — ） [—]										
入学定員超過率 B/A	0.29											

- (注) • 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 35	[-] (-)	[-] ()							
2年次		[-] ()	[-] ()	[-] ()	[-] ()	[-] ()	[-] ()	[-] ()	[-] ()	
3年次				[-] ()						
4年次						[-] ()	[-] ()			
計	[-] (-) 35	[-] ()	[-] ()	[-] ()	[-] ()					

- (注) • 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
- ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	35 人	0 人	平成28年度	0 人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人		%
			平成30年度	- 人	- 人		
			平成31年度	- 人	- 人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		%
			平成31年度	- 人	- 人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	人	人		%
合 計	35 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
 ・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

2 授業科目の概要

<現代ビジネス学部 現代ビジネス学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
											教育の質向上のため、従来の「基礎・教養科目」を「共通教育科目」に変更。これに伴い、「基礎科目」「教養科目」の科目区分を、「建学の精神」「コミュニケーション」「国際理解」「歴史と文化」「現代社会を読み解く」「自然と科学」「くらしと健康」「キャリアデザイン」に変更した。(28)
共通教育科目	宗教と人生 仏教と現代社会	1前 1後	2 2								兼1 兼1
	日本語（読解と表現）	1前	2								兼2 兼1
	英語	1前	2			1 1					教育内容充実のための教員追加(28) 安井重雄兼任講師の退職に伴う教員変更(28) 担当教員辞退のための教員変更(28)
	実用英語Ⅰ	1後		2							兼1
	実用英語Ⅱ	2前		2							兼2 兼1
	実用英語Ⅲ	2後		2			1				教育内容充実のための教員追加(28) 「実用英語（初級）」から科目名変更(28)
	中国語（初級）	1前		2							兼1
	中国語（中級）	1後		2							兼1
	韓国語（初級）	1前		2		1					教育内容充実のための教員追加(28)
	韓国語（中級）	1後		2		1					教育内容充実のための教員追加(28)
	コンピュータ演習	1前	2			2	1				
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）	1前		2							兼1
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）	1後		2							兼1
	比較文化論	1後		2							兼1
歴史と文化	歴史学	1前		2							教育課程充実のため科目追加(28)
	文学	1前		2							兼1
	芸術	1後		2							兼1
	色彩とデザイン	1前		2							兼1
ぶに地域	地域文化論	1後		2							教育課程充実のため科目追加(28)
現代社会を読み解く	哲学	1後		2							兼1
	法と社会	1後		2							兼1
	日本国憲法	1前		2							兼1
	人権の歴史	1前		2							兼1
	政治学	1前		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	経済学	1前		2		1					
自然と科学	生命倫理学	1後		2							兼1
	心理学	1前		2							兼1
	化学	1前		2							兼1
	生物学	1後		2							兼1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	くらしと健康	1後	2								兼1 兼2 兼4 兼1 兼1
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）	1後	2								教育内容充実のための担当者追加（28）
アキイデヤンザリ	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）	1前	2								兼1
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）	1後	2								兼1
専門教育科目	私のためのキャリア設計	1前	2								兼1
	プレゼンテーション	1後	2			1	1	2			
キャリア基礎科目	アプリケーションソフト	1後	2			1	2				履修対象者減による担当教員変更（28）
	ボランティア体験A	2前	2			1	1				
専門教育科目	ボランティア体験B	2後	2			1	1				
	語学・異文化体験演習	2後	4			1	1				
専門教育科目	短期インターンシップ	3前	2			2	1				
	長期インターンシップ	3通	2			2	1				
専門教育科目	簿記演習Ⅰ	1前	2								兼1
	簿記演習Ⅱ	1後	2								兼1
専門教育科目	工業簿記	2前	2								兼1
	簿記論	2前	2			1	1				
専門教育科目	情報モラル	1前	2			1	1				
	情報デザイン	1前	2								
専門教育科目	情報のための数学	1後	2								
	グラフィックス	1後	2								
専門教育科目	アルゴリズム	2前	2			1	1				兼1
	情報発信と検索	2前	2			1	1				
専門教育科目	情報システムⅠ	2後	2			1	1				
	情報システムⅡ	3前	2			1	1				
専門教育科目	情報ネットワーク	2後	2			1	1				
	情報セキュリティ	3前	2			1	1				
専門教育科目	プログラミング演習Ⅰ	2後	2								
	プログラミング演習Ⅱ	3前	2								
専門教育科目	コンピュータシステム	3後	2			1	1				
	情報と職業	3後	2			1	1				
専門教育科目	データベース	3後	2								
	ビジネス実務総論	1後	2								
専門教育科目	ビジネス実務演習	2前	2								
	人生設計と資産運用	2後	2								
専門教育科目	秘書総論	1後	2								
	秘書実務演習	2前	2								
専門教育科目	グローバルスタディA	3前	2			1	1				
	グローバルスタディB	3後	2			1	1				
専門教育科目	職業指導	3後	2								兼1
	プロジェクト実践科目	プロジェクト演習入門	1前	2		5	1 2	1			履修対象者減による担当教員変更（28）
専門教育科目	プロジェクト演習Ⅰ	1後	2			5	1 2	1			履修対象者減による担当教員変更（28）
	プロジェクト演習Ⅱ	2前	2			5	2	1			
専門教育科目	プロジェクト演習Ⅲ	2後	2			5	2	1			

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	キャンパスライフ入門	1前	2			6 5	2				教育内容充実のための教員追加 (28)
	修学基礎Ⅰ	1後	2			4 3	3	1			教育内容充実のための教員追加 (28)
	修学基礎Ⅱ	2前	2			3	4	2			
	専攻演習Ⅰ	2後	2			4	4				
	専攻演習Ⅱ	3前	2			6	3	1			
	専攻演習Ⅲ	3後	2			6	3	1			
	卒業研究Ⅰ	4前	2			6	3	1			
	卒業研究Ⅱ	4後	2			6	3	1			
専攻基礎科目	現代ビジネス入門	1前	2			1					
	経済学入門	1後	2				1				
	統計学の基礎	1後	2			1					
	数学基礎	1前		2		4	1				履修対象者減による担当教員変更 (28)
	経済学のための数学	1後		2		1					担当教員辞退のための教員変更 (28)
	ビジネス英語入門	1前		2			1				担当教員辞退のための教員変更 (28)
	ビジネス英語Ⅰ	1後		2			1				担当教員辞退のための教員変更 (28)
	現代経済社会	1後		2							
	国際関係論	1後		2							
	社会調査の基礎	1後		2							
専門教育科目	経営学	2前		2			1				
	グローバル経済事情	2前		2		1					
	ミクロ経済Ⅰ	2前		2		1					
	マクロ経済Ⅰ	2前		2				1			
	プロジェクト実践Ⅰ	3前		2		3	1				
	プロジェクト実践Ⅱ	3後		2		3	1				
	現代ビジネスの実際	2前		2			1				
	経営戦略Ⅰ	2後		2			1				
	経営戦略Ⅱ	3前		2			1				
	企業経営研究Ⅰ	2後		2			1				
専攻専修科目	ビジネス法務	2後		2					1		
	ビジネス文書	2後		2					1		
	金融	3前		2			1				
	国際金融	3後		2			1				
	社会政策	3前		2						兼 1	
	会社法	3前		2						兼 1	
	経営管理	3後		2			1				
	異文化理解	2前		2						兼 1	
	ビジネス英語Ⅱ	2前		2			1			兼 2	
	ビジネス英語Ⅲ	2後		2			1			兼 2	
グローバルビジネス専攻科目	ビジネス英会話Ⅰ	3前		2		1					
	ビジネス英会話Ⅱ	3後		2		1					
	ビジネス英語（上級）Ⅰ	3前		2			1				
	ビジネス英語（上級）Ⅱ	3後		2			1				
	国際社会論	2前		2						兼 1	
	国際政治学	2後		2						兼 1	
	グローバルビジネス実務	3前		2		1					
	企業経営研究Ⅱ	3前		2		1					
	グローバル経営	3後		2		1					
	ビジネス情報システム	3後		2		1					

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門教育科目 専攻科目	地域政策	2前	2		1					兼1
	現代の地域づくり	2前	2		1					
	管理会計	2前	2		1					
	財務会計	2後	2		1					
	食と地域	2後	2		1					
	農業ビジネス	3前	2		1					
	観光学入門	2後	2		1					
	観光政策	3前	2		1					
	国際観光論	3後	2		1					
	コンピュータ会計	3前	2		1					
	中小企業会計	3後	2		1					
	マーケティング	3前	2		1					
専門教育科目 修習科目	起業家塾	3後	2		1					兼1
	ミクロ経済II	2後	2		1					
	マクロ経済II	2後	2		1					
	統計学I	2前	2		1					
	統計学II	2後	2		1					
	行政と社会	2前	2		1					
	現代社会と法	2前	2		1					
	民法	2後	2		1					
	経済政策	2後	2		1					
	産業と企業の経済学	3前	2		1					
	競争政策	3後	2		1					
	財政I	3前	2		1					
教職に関する科目	財政II	3後	2		1					兼1
	行政法	3後	2		1					
	教職概論	1前	2		1					
	教育原理	1前	2		1					
	発達心理学	2後	2		1					
	教育心理学	1後	2		1					
	教育制度論	1後	2		1					
	教育課程論	2後	2		1					
	公民科教育法	3通	4		1					
	商業科教育法	3通	4		1					
	特別活動論	2後	2		1					
	教育方法・技術論	2後	2		1					
教職に関する科目	生徒指導論	2前	2		1					
	教育相談（カウンセリングを含む）	3後	2		1					
	進路指導論	3前	2		1					
	教育実習事前事後指導	4通	2		1					
	高等学校教育実習	4前	2		1					
	教職実践演習（高）	4後	2		1					

- (注)
 - ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 21	科目 139	科目 0	科目 160	科目 21 []	科目 142 [3]	科目 0 []	科目 163 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△ 1）
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	文学	2	1前	共通	選択	安井重雄兼担教授の退職のため。 開講期は1年～4年次前期であることから、次年度以降に開講する。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	—					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

安井重雄兼担教授は、急遽の退職の申し出であったが、同教授が担当する授業科目「文学」は、他に担当する専任教員等がないため、未開講とした。同科目は共通教育科目であり、開講期は1年～4年次前期であることから、履修機会は4年間あるため、学生への影響はない。

「学生への周知方法」

学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.07\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		兵庫大学短期大学部と共に用		
	校舎敷地	0 m ²	73,964 m ²	0 m ²	73,964 m ²				
	運動場用地	0 m ²	9,600 m ²	0 m ²	9,600 m ²				
	小計	0 m ²	83,564 m ²	0 m ²	83,564 m ²				
	その他	0 m ²	9,715 m ²	0 m ²	9,715 m ²				
	合計	0 m ²	93,279 m ²	0 m ²	93,279 m ²				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		兵庫大学短期大学部と共に用		
		6,861 m ² (6,861 m ²)	22,231 m ² (22,231 m ²)	1,967 m ² (1,967 m ²)	31,059 m ² (31,059 m ²)				
(3) 教室等		講義室 27室 25室	演習室 26室	実験実習室 30室 28室	情報処理学習施設 4室 (補助職員 3人)	語学学習施設 室 (補助職員 人)	大学全体 兵庫大学短期大学部と共に用 学修環境の整備のため、講義室を2室追加、実験実習室を2室追加 (28)		
		新設学部等の名称			室数				
(4) 専任教員研究室		現代ビジネス学部 現代ビジネス学科			17 16	室	教員組織の追加に伴う研究室の追加 (28)		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書冊	学術雑誌 〔うち外国書〕冊	電子ジャーナル 〔うち外国書〕種	視聴覚資料点	機械・器具点	標本点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数	
		現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	53,557 [6,741] (53,357 [6,691])	1,756 [256] (1,688 [216])	21 [18] (21 [18])	5,978 (5,972)	5,808 (5,768)		
	計	53,557 [6,741] (53,357 [6,691])	1,756 [256] (1,688 [216])	21 [18] (21 [18])	5,978 (5,972)	5,808 (5,768)	230 (220)		
(6) 図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		学修環境の整備のため、閲覧座席数及び収納可能冊数を追加 (28)	
		1,829 m ²		270 257		151,200 145,000			
(7) 体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		2,286 m ²		テニスコート 4面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当たり研究費等	480千円	480千円	図書購入費	3,700千円	3,400千円	3,400千円	
	共同研究費等	2,000千円	1,000千円	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円		
		学生1人当たり 納付金	1,280千円	980千円	980千円	980千円	- 千円	- 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等						

- (注)
 - ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はABC対象学部等の数値を記入してください。）
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	兵庫大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	設度	所在地	平成28年より学生募集停止
経済情報学部	年	人	年次人	人	学士(経済情報)	倍				
経済情報学科	4	-	-	-		-	平成7年度			
健康科学部										
栄養マネジメント学科	4	80	3年次20	360	学士(栄養学)	0.79	平成13年度			
健康システム学科	4	40	-	160	学士(健康科学)	1.12	平成13年度		兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	
看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.23	平成18年度			
生涯福祉学部										
社会福祉学科	4	30	-	120	学士(社会福祉学)	0.71	平成20年度			
こども福祉学科	4	50	5	210	学士(こども福祉)	0.75	平成20年度			
大学の名称	兵庫大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	設度	所在地	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地
保育科第一部	年	人	年次人	人	短期大学士(保育)	倍				
保育科第三部	2	100	-	200	1.05	昭和32年度				
	3	80	-	240	短期大学士(保育)	1.12	昭和46年度			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代ビジネス学部 現代ビジネス学科>

(1) 担当教員表

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	設置時の計画			変更状況				備考
		氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	
専任	教授	三宅 伸二 (65)	平成28年4月	簿記論 キャンパスライフ入門 修学基礎Ⅱ 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 管理会計 財務会計 コンピュータ会計 中小企業会計					
専任	教授	堀池 聰 (58)	平成28年4月	コンピュータ演習 アプリケーションソフト 情報ネットワーク 情報セキュリティ プロジェクト演習入門 コンピュータシステム プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ キャンパスライフ入門 修学基礎Ⅰ 修学基礎Ⅱ 専攻演習Ⅰ					履修者減に伴う担当変更 (28)
専任	教授	池本 廣希 (68)	平成28年4月	プロジェクト演習入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ 専攻演習Ⅱ					

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	池本 廣希(68)	平成28年4月	専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ 食と地域 農業ビジネス						
専任	教授	澤山 明宏(63)	平成28年4月	グローバルスタディB 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ グローバル経済事情 ビジネス英会話Ⅰ ビジネス英会話Ⅱ グローバルビジネス実務 企業経営研究Ⅱ グローバル経営 マーケティング	専任 教授	澤山 明宏 (63)	平成28年4月 平成28年4月	キャンパスライフ入門 修学基礎Ⅰ	教育内容の充実のための教員追加(28) 教育内容の充実のための教員追加(28)	
専任	教授	木下 準一郎(61)	平成28年4月	ボランティア体験B プロジェクト演習入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ 起業家塾 行政と社会						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	高野 敦子 (56)	平成28年4月	アルゴリズム 情報発信と検索 情報と職業 プロジェクト演習入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ キャンパスライフ入門 修学基礎Ⅰ 専攻演習Ⅰ 統計学の基礎 数学基礎 経済学のための数学 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ						
専任	教授	榎木 浩 (55)	平成28年4月	コンピュータ演習 短期インターンシップ 長期インターンシップ 情報モラル 情報システムⅠ 情報システムⅡ プロジェクト演習入門 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ キャンパスライフ入門 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ ビジネス情報システム						履修者減に伴う担当変更（28）

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	変更状況					備考
					専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	石原 敬子 (50)	平成28年4月	経済学 プレゼンテーション キャンパスライフ入門 修学基礎Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 現代経済社会 ミクロ経済Ⅰ ミクロ経済Ⅱ 産業と企業の経済学 競争政策						
専任	教授	李 良姫 (49)	平成28年4月	短期インターンシップ 長期インターンシップ グローバルスタディA 修学基礎Ⅱ 専攻演習Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 現代ビジネス入門 地域政策 観光学入門 観光政策 国際観光論						
専任	准教授	笹平 康弘 (58)	平成28年4月	語学・異文化体験演習 修学基礎Ⅰ 専攻演習Ⅱ 専攻演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	笹平 康弘 (58)	平成28年4月	修学基礎 I ビジネス英語入門 ビジネス英語 I ビジネス英語 II ビジネス英語 III ビジネス英語（上級） I ビジネス英語（上級） II						
専任	准教授	西田 悅雄 (50)	平成28年4月	コンピュータ演習 アプリケーションソフト 情報デザイン プログラミング演習 I プロジェクト演習入門 プロジェクト演習 I キャンパスライフ入門 修学基礎 I 修学基礎 II 専攻演習 I						履修者減に伴う担当変更 (28)
専任	准教授	竹川 宏子 (48)	平成28年4月	プレゼンテーション 修学基礎 II 専攻演習 I 専攻演習 II 専攻演習 III 卒業研究 I 卒業研究 II 経営学 現代ビジネスの実際 経営戦略 I 経営戦略 II 企業経営研究 I 経営管理						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	設置時の計画				変更状況					備考
	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任 准教授	森下 博 (45)	平成28年4月		アプリケーションソフト						
				ボランティア体験A						
				情報のための数学						
				プログラミング演習Ⅱ						
				データベース						
				プロジェクト演習入門						履修者滅に伴う担当科目削除 (28)
				プロジェクト演習Ⅰ						履修者滅に伴う担当科目削除 (28)
				プロジェクト演習Ⅱ						
				プロジェクト演習Ⅲ						
				キャンパスライフ入門						
専任 准教授	橋本 尚史 (39)	平成28年4月		修学基礎Ⅰ						
				修学基礎Ⅱ						
				専攻演習Ⅰ						
				専攻演習Ⅱ						
				専攻演習Ⅲ						
				卒業研究Ⅰ						
				卒業研究Ⅱ						
				プロジェクト実践Ⅰ						
				プロジェクト実践Ⅱ						
				金融						
				国際金融						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	土方 直子 (50)	平成28年4月	プレゼンテーション 短期インターンシップ 長期インターンシップ ビジネス実務総論 ビジネス実務演習 秘書総論 秘書実務演習 プロジェクト演習入門 プロジェクト演習 I プロジェクト演習 II プロジェクト演習 III 修学基礎 I 修学基礎 II ビジネス文書						
専任	教授	中本 淳 (39)	平成28年4月	プレゼンテーション 修学基礎 II 専攻演習 II 専攻演習 III 卒業研究 I 卒業研究 II 経済学入門 マクロ経済 I マクロ経済 II 経済政策 財政 I 財政 II						
兼担	教授	田中 正彦 (64)	平成28年4月	グラフィックス						
兼担	教授	大平 曜子 (59)	平成28年4月	教育心理学						
兼担	教授	三宅 一郎 (59)	平成28年4月	健康・スポーツ科学 I (講義)						
				健康・スポーツ科学 II (演習) 健康・スポーツ科学 III (演習)	兼担	准教授	矢野 琢也 (47)	平成28年4月	健康・スポーツ科学 I (講義)	教育内容充実のための教員追加 (28)
兼担	教授	吉原 恵子 (59)	平成28年4月	社会学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任 教授	安井 重雄 (54)	平成28年4月	日本語（読解と表現） 文学							
					兼任 講師	辻本 恵子 (46)	平成28年4月	日本語（読解と表現）	安田重雄兼任教授退職のための教員変更 (28)	
					兼任 講師	野田 直恵 (54)	平成28年4月	日本語（読解と表現）	安田重雄兼任教授退職のための教員変更 (28)	
									安井重雄兼任教授退職に伴う不開講 (28)	
兼任 教授	田端 和彦 (51)	平成28年4月	社会調査の基礎							
兼任 教授	古田 薫 (55)	平成29年4月	教育課程論							
兼任 教授	河野 真 (56)	平成30年4月	社会政策							
兼任 准教授	岡本 洋之	平成28年4月 (55)	教職概論 教育原理 教育実習事前事後指導 高等学校教育実習 教職実践演習（高）		兼任 教授	古田 薫 (55)	平成28年4月	教職概論	教育内容充実のための教員変更 (28)	
					専任 准教授	岡本 洋之 (55)	平成28年4月	教育原理	組織の改編に伴う教員組織の変更によるもの (28)	
								教育実習事前事後指導		
								高等学校教育実習		
兼任 准教授	斎藤 正寿 (54)	平成28年4月	政治学 国際関係論 国際社会論 国際政治学							
兼任 准教授	佐藤 隆 (50)	平成28年4月	生物学							
兼任 准教授	河野 稔 (46)	平成29年4月	教育方法・技術論							
兼任 准教授	松田 信樹 (43)	平成29年4月	発達心理学							
兼任 准教授	原 志津 (53)	平成30年4月	教育相談（カウンセリングを含む）							
兼任 准教授	嶋津 裕子 (55)	平成28年4月	食と健康							
兼任 講師	廣間 準一 (66)	平成28年4月	ビジネス英語入門 ビジネス英語 I ビジネス英語 II ビジネス英語 III							
兼任 講師	柳楽 節子 (64)	平成28年4月	芸術	兼任 講師	岩見 健二 (68)	平成28年4月	芸術	柳楽節子兼任講師担当辞退のため教員者変更 (28)		
兼任 講師	笛田 哲男 (64)	平成28年4月	日本国憲法 教育制度論							
兼任 講師	三上 嘉代子 (63)	平成28年4月	私のためのキャリア設計							
兼任 講師	阿部 正幸 (62)	平成28年4月	化学							
兼任 講師	條 曜寧 (61)	平成28年4月	中国語（初級） 中国語（中級）							
兼任 講師	三浦 摩美 (52)	平成28年4月	哲学							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	笹平 桂子 (53)	平成28年4月	ビジネス英語入門						笹平桂子兼任講師担当辞退に伴う 科目削除。当該教員のほか、2名担 当のため影響はない。(28)
				ビジネス英語 I						笹平桂子兼任講師担当辞退に伴う 科目削除。当該教員のほか、2名担 当のため影響はない。(28)
				ビジネス英語 II						
				ビジネス英語 III						
兼任	講師	根川 幸男 (52)	平成28年4月	国際理解と宗教 I (キリスト教)						
兼任	講師	重親 知佐子 (49)	平成28年4月	国際理解と宗教 II (イスラム教)						
兼任	講師	高 秀美 (41)	平成28年4月	韓国語 (初級)						
				韓国語 (中級)	専任 教授 李 良姫 (49)	平成28年10月	韓国語 (初級)	教育内容充実のため教員追加 (28)		
					専任 教授 李 良姫 (49)	平成28年10月	韓国語 (中級)	教育内容充実のため教員追加 (28)		
兼任	講師	豊福 一 (56)	平成28年4月	法と社会 民法						
兼任	講師	岩本 智依 (37)	平成28年4月	人権の歴史						
兼任	講師	松盛 美紀子 (37)	平成28年4月	実用英語 (初級)	兼任 講師 松盛 美紀子 (38)	平成28年4月	実用英語 I	共通教育科目の充実のための科目 名変更 (28)		
				実用英語 (中級)	専任 准教授 笹平 康弘 (59)	平成28年4月	実用英語 I	教育内容充実のための教員追加 (28)		
					兼任 講師 Michael H. Fox (60)	平成28年4月	実用英語 I	教育内容充実のための教員追加 (28)		
					兼任 講師 松盛 美紀子 (38)	平成28年4月	実用英語 II	共通教育科目の充実のための科目 名変更 (28)		
					専任 准教授 笹平 康弘 (59)	平成28年4月	実用英語 II	教育内容充実のための教員追加 (28)		
					兼任 講師 Michael H. Fox (60)	平成28年4月	実用英語 II	教育内容充実のための教員追加 (28)		
兼任	講師	古莊 匠義 (35)	平成28年4月	生命倫理学	兼任 講師 本多 真 (36)	平成28年4月	生命倫理学	古莊兼任講師担当辞退に伴う教員 変更 (28)		
兼任	講師	古林 純一 (29)	平成28年4月	簿記演習 I 簿記演習 II 工業簿記 会社法						
兼任	講師	砂子 滋美 (70)	平成29年4月	特別活動論						
兼任	講師	新井野 久男 (69)	平成29年4月	生徒指導論 進路指導論						
兼任	講師	藤田 憲一 (68)	平成29年4月	現代社会と法						
兼任	講師	大宮 登 (65)	平成29年4月	現代の地域づくり						
兼任	講師	連 紗智 (36)	平成29年4月	ビジネス法務						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	島本 克彦(66)	平成30年4月	商業科教育法						
兼任	講師	八木 達也(65)	平成30年4月	公民科教育法						
兼任	講師	塙見 佳也(42)	平成30年4月	行政法						
兼任	講師	本間 利通(39)	平成30年4月	職業指導						

<共通>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	北島 律之(47)	平成28年4月	心理学						
兼担	准教授	稻富 恒(51)	平成28年4月	色彩とデザイン	兼担	教授	稻富 恒(51)	平成28年4月	色彩とデザイン	稻富恭准教授の教授昇任に伴うもの(28)
兼担	准教授	平本 幸治(55)	平成28年4月	英語	専任	教授	澤山 明宏(63)	平成28年4月	英語	平本兼担准教授の担当辞退に伴う教員変更(28)
					専任	准教授	笹平 康弘(59)	平成28年4月	英語	平本兼担准教授の担当辞退に伴う教員変更(28)
					兼任	講師	廣間 準一(66)	平成28年4月	英語	平本兼担准教授の担当辞退に伴う教員変更(28)
兼担	講師	本多 彩(38)	平成28年4月	宗教と人生 仏教と現代社会 異文化理解	兼担	准教授	本多 彩(38)	平成28年4月	宗教と人生	本多彩講師の准教授昇任に伴うもの(28)
									仏教と現代社会	
									比較文化論	共通教育科目の充実のための科目追加(28)
									異文化理解	本多彩講師の准教授昇任に伴うもの(28)
					兼任	教授	金子 哲(54)	平成28年4月	歴史学	共通教育科目の充実のための科目追加(28)
									地域文化論	共通教育科目の充実のための科目追加(28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（　）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
9	5	2	0	16	9	6	2	0	17	9	6	2	0	17
(9)	(6)	(2)	(0)	(17)						[]	[1]	[]	[]	[]

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢 (歳)	報告書提出時 (上記(A)) の教員のうち、 定年を延長して 採用している教 員数	完成年度時（上 記(B)）の教 員うち、定年を 延長して採用す る教員数
67 歳	1 名	2 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計（A）				後任補充状況の集計（B）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	
・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」										

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計（C）				後任補充状況の集計（D）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	
・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」										

(注) ・一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記（3）-①・（3）-② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(注) ・就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画
設置時 (平成28年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（　）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<現代ビジネス学部 現代ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 a 講義室2室 (117.2m ²)	① 学生の修学環境を改善するため、講義室を2室増やした。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD委員会規程（別紙1）
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 第1回 平成27年5月25日（月）出席7名 第2回 平成27年6月22日（月）出席10名 第3回 平成27年7月13日（月）出席8名 第4回 平成27年8月3日（月）出席9名 第5回 平成27年10月20日（火）出席7名 第6回 平成28年1月27日（水）出席9名 第7回 平成28年2月17日（水）出席9名 第8回 平成28年3月15日（火）出席6名
c 委員会の審議事項等 第1回 （1）平成27年度FD活動事業計画について
第2回 （1）各事業計画の状況報告について （2）平成27年度I期授業アンケートの実施について
第3回 （1）授業公開の実施状況について （2）アクティブラーニングに関する研修会について
第4回 （1）平成27年度授業公開に係る実施要領（学科案）および公開リストについて （2）平成26年度初年次教育実施状況について （3）アクティブラーニングに関する研修会および教員カフェについて （4）ふりかえりシートの分析と来年度以降の実施について
第5回 （1）教員カフェの実施について （2）FD通信の発行について

第6回 (1) 教員カフェについて
(2) ふりかえリシートについて
(3) 平成28年度予算について
(4) 平成28年度新任教職員研修について
(5) 授業アンケートの質問内容について
(6) アクティブ・ラーニング事例情報収集に関する大学訪問について
(7) FD通信の発行について

第7回 (1) 平成27年度自己点検評価報告書について
(2) 授業アンケートの質問内容について（継続審議）
(3) 平成28年度FD事業計画について

第8回 (1) 第2回「教員カフェ」について
(2) 授業アンケートの質問内容について（継続審議）
(3) アクティブ・ラーニング事例情報収集に関する大学訪問先について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業アンケート（中間、期末）
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）
- ・ ふりかえリシート（ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価）
- ・ 講演会（アクティブ・ラーニングに関する研修会）
- ・ 教員カフェ（ワークショップ形式の「授業のお悩み相談室」）
- ・ FD通信発行
- ・ 新任教職員研修会

b 実施方法

- ・ 授業アンケート（中間、期末）
中間(5月、10月)期末(7月、1月)に授業アンケートを実施
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）
学科ごとに公開期間、公開科目を設定し教員相互の授業参観を実施
- ・ ふりかえリシート（ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価）
平成27年度Ⅱ期成績発表時に実施
- ・ 講演会（アクティブ・ラーニングに関する研修会）
「アクティブ・ラーニング手法の実践事例」を実施
- ・ 教員カフェ
「兵庫大学の教育の“質”をどう高めていくか考えよう」を実施
「学びを『自分ごと』にするには？」を実施
- ・ FD通信発行
FD通信発行を適宜発行
- ・ 新任教職員研修会
年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業アンケート（中間、期末）
中間(5月、10月)期末(7月、1月)に授業アンケートを実施
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）
平成27年7月22日(火) 公開科目数 2科目 延べ参観者数 1人
平成27年10月23日(木)～12月17日(水) 公開科目数 77科目 延べ参観者数 26人

- ・ ふりかえりシート（ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価）
平成27年度 I、II期成績発表時に全学科、全学生を対象として実施
- ・ 講演会（アクティブ・ラーニングに関する研修会）
「アクティブ・ラーニングに関する研修会」
平成27年9月30日(水)13:00～16:00 参加者56人
- ・ 教員カフェ（アクティブ・ラーニングに関する研修会）
「兵庫大学の教育の“質”をどう高めていくか考えよう」
平成27年11月13日(金)13:00～16:00 参加者22人
「学びを『自分ごと』にするには？」
平成28年3月9日(水)10:30～13:30 参加者13人
- ・ FD通信発行
FD通信発行を発行 (FD通信No.1 : 平成28年3月1日(火))
- ・ 新任教職員研修会
平成27年4月2日(木) 19人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートおよびふりかえりシートの活用により、学修状況、学修成果を把握した。加えて、学内研修、授業公開を実施することで、各教員の授業改善の一助とし、教員が相互に教育の質の向上を目指すための環境づくりに取り組んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 I期中間：平成27年5月26日～5月31日 I期期末：平成27年7月11日～授業終了日
II期中間：平成27年10月21日～10月26日 II期期末：平成28年1月7日～授業終了日

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へ結果を配付し、集計結果は、インターネットを通じて公表している。（学内からのみ閲覧可）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

c 委員会の審議事項等

② 実施状況

a 実施内容

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

c 開催状況（教員の参加状況含む）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
別紙2のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・平成29年3月公表予定
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画
・平成21年度に認証評価機関「日本高等教育評価機構」において受審済。
・次回受審年度は平成28年度。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28 年 5 月 1 日)